

平成29年10月10日

東栗倉小学校6年生保護者様

東栗倉小学校
校長 井上 吉和

平成29年度全国学力・学習状況調査結果と今後の取組について

爽秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。平素より本校教育に対しまして温かいご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

子供達は、先日、最高学年の6年生を先頭にみんなの心を一つにし、見事運動会を成功させ、今は、次の新たな目標に向かって歩みを進めているところです。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査（目的：児童の学力〈国語・算数の基礎基本（A問題）と応用力（B問題）〉及び学習状況を把握分析することにより、教育の成果と課題を検証し、その改善を図る）について、本校の主な成果や課題及び今後の取組をお知らせいたします。

本校の成果

- 言語（漢字の読み書きやことわざの意味や使い方など）および小数の計算や図形について一定の理解がある。
- 授業では、友だちの話を最後まで聞き、自分の考えを伝えることができる。
- テレビやゲームなど、おうちの人とルールを決めてすることができている。
- 家庭学習や宿題にきちんと取り組んでいる。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 地域活動や体験活動によく参加している。

本校の課題

- ・ 国語では、文章や作者の意図を読み取ったりすることを苦手としている。
- ・ 話し合いの仕方や方法を苦手としている。
- ・ 大勢の前で話したり、友達関係を作ったり、集団に順応することが苦手である。

本校の取組

- ☆ 教育相談や生活アンケートを行うなど子供の理解や支援に努めるとともに、子供の「意欲」や「自己肯定感」を高める活動を継続して進める。
- ☆ 少人数の利点を生かしながら、一人一人に応じた指導を行っていく。
- ☆ 継続した反復練習とともに、応用力や表現力の向上に力を入れて取り組む。
- ☆ 返事、話し方、聞き方、学習用具、ノートのとり方など、学習規律の定着を図る。
- ☆ 読書習慣を身につける取組を継続する。（週末読書・読書貯金など）
- ☆ 中学校区で連携し、家庭学習の充実や基本的生活習慣を身につける取組を継続するとともに、ゲームやテレビ、携帯（スマートフォン）などの使用についても考えていく。
- ☆ 地域へ出かけたり外部講師を招いたりして生活に根ざした体験活動を重視し、ご家庭や地域の方の力をお借りしながら、地域全体で子供を育てる取組を進める。

以上ですが、年によって全国や県の平均を上回ったり下回ったりします。そのことに一喜一憂しないで、その年その年の子供達の実態や数年の傾向を見ながら本校の成果や課題を把握・分析し、子供達に必要な力が着実につくよう、全職員で、そしてご家庭や地域の皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、温かいご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。